



ADULT
P-16
ONLY



いまいち状況が
掴めないんだが…

お前はこの
マスケット銃で俺を
脅迫しているのか??



そうね

遊園地デートへの
誘いを断れば殺すと?

ええ



はあ…

悪いが…



ぜっぜっ…
ぜっ…ぜっ…

はあああ ———
!?



はっ…
はっ…

オム…
オム…



ぜ……善良な市民に
対して殺意向きだして
発砲とは……

どんな理由であれ
犯罪行為だぞ!?

何なんだこの女!?!
頭おかしんじゃないか!?!
どーいう思考回路をじているのだ……

……それだけ本気だと
ご理解頂けたかしら?



……理解は出来たと
言っておこう
ただ納得は出来ないな

お前みたいなのと
一緒にいると命が
いくつあっても
足りなさそうだ!

はいそうですかと
快諾など出来るか!

ならばこちらも
強硬策に出て
お引取り願おうか!

それでは
割に合わない



……わかったわ
ではそちらの
条件も……

おは

!?



可児江くん…
これがあなたの条件
なのかしら…?

思っていたより
下品な男なのね…

か：勘違いするな
お前が誘う遊園地デート
というものが
只のデートでは無いことは
何となく透けて見える

お前のことをよく
知ってからでないかと
納得して付いて
行くこと等出来ないな

お前まで言えば
この女も引くだろう…



：私にもあなたを
誘うに値する
覚悟を決めろと？

…えっ？



正直あまり気は
進まないけれど

貴方が望むならー

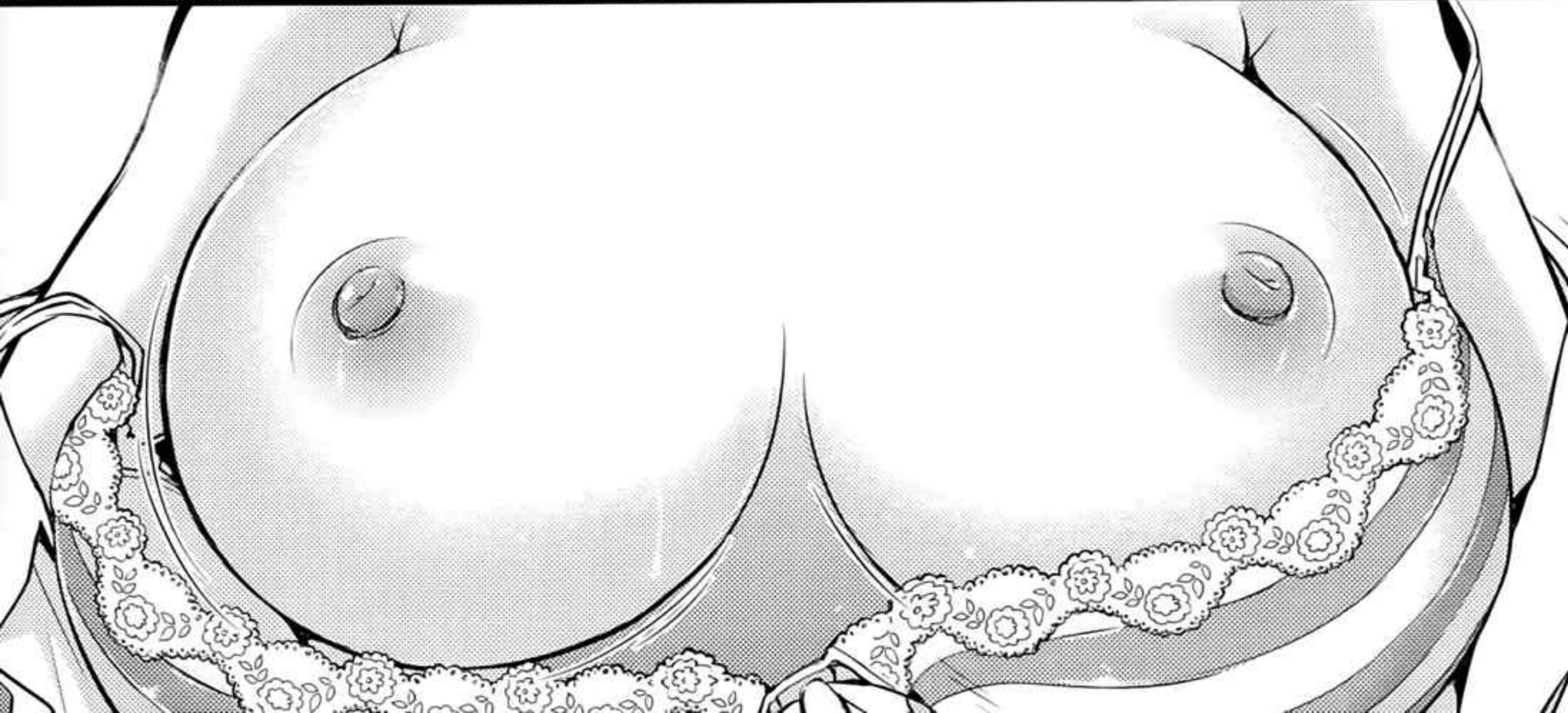


わかったわ。
私は貴方にかけてると
決めて声をかけた。

!?…ちよ…
ちよっと待て



この身体思う存分
検分すればいいわ





な…何だ？この身体つきは…
この世のものとは思えないな

まるで別世界から
飛び出てきたような…

彫刻のように
美しい乳房だな…

…そそろう？
自分ではそんな風には
思ったことは
無いけれど…

カマ



近衛隊？
衛士…??



程よくしまっていて
且つ包み込むような
柔らかさだ

きつと乳房の下には
鍛えられた良質な
筋肉があるのだろう

んっ…

キニキ



…ん…

なら…こういう
ことも訓練として
経験済みか…？

ん……っ



わ…私は近衛隊の
衛士なのだから
それくらいは
とうぜ…んっ…



えっ…か…
可児江くん？

舐めてみなければ
確認できないことも
あるだろう…？

我ながら訳の
解らない言い分だ…

まっ…待っ

お前のことを
信用するには
必要な行為だ…



ここも…確認
しないと…？

可児江くん!!
そ…そこは…

!!

おっ

ピク
ピク



さつきマスケット銃が
スカートの中に
忽然と姿を消した

魔法でも使わぬ限り
そんな芸当は無理だ

ま…待って
可児江…くん



美少女転校生の肢体を
好き放題出来る
又と無い機会…!!

あれは…っ

ならば隠すことが
出来る場所など…



此処以外に
あるまい…!!

ちよっ…

俺様が思う存分に
味わってやろう!!





んっ...
んっ...
んっ...!?



はあっ...
はあ...:



んっ

ふっ...っ!!

あっ...
ああ...
ああ...!!

んっ...!
!?

千斗...っ
お前...:

んっ...!!





こ…っ
こんな体勢…っ
んっ…っ

はっ…っ
んっ…っ

覚悟は
決めたのだろうか??



…
干渉いすず…

んっ…



舌を出せ…

んっ…ふっ



は…うん

ふあっ…
んちゅ…





どうしてお前は
ここ迄俺に許す

それ程迄にお前に
とって遊園地デートは
ただのデート以上に
意味のあるものなのか



可児江西也…貴方は
私達にとって
最後の希望…
だからどんな手を
使っても日曜日
貴方を遊園地へと
連れて行くのが

私の…使命



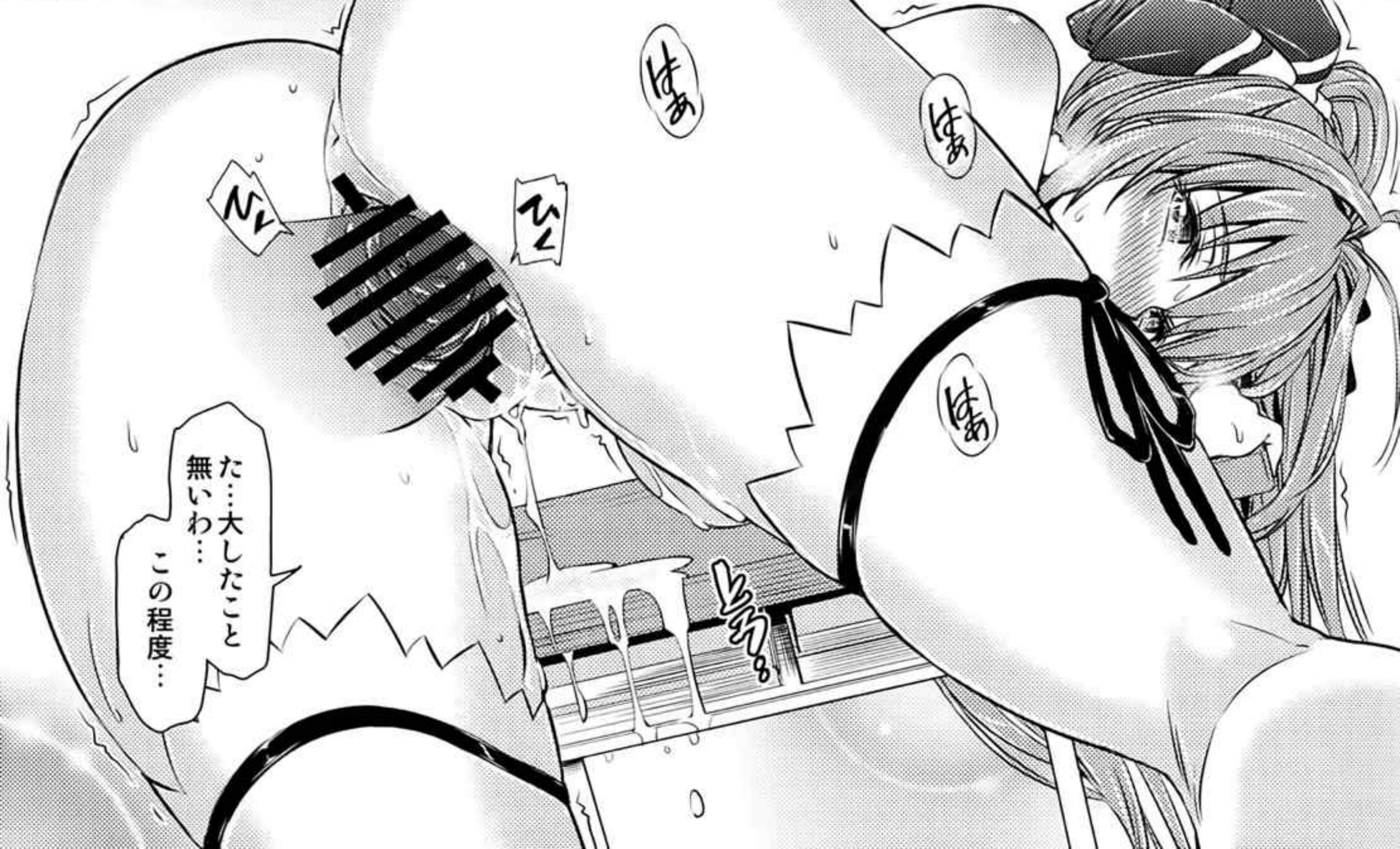
はあ…はあ…
どうしたの？
もう終わり…？

いや…お前の
全てを知るまで
見極めるまで…

最後まで
付き合ってもらおう!!



どうだ…
千斗
奥まで
届いてるぞ



た…大したこと
無いわ…
この程度…



えっ...!?

次は...

えっ...!!

んっ...!!

んっ...!!

はっ...あっ
んっ...ん



ん? どうした?
声色が艶っぽく
なったんじゃないか?

ひっ...んっ

...そんなこと
ある訳...んっ

んっ...!!



…っ!?!
わ…腋なんて
汚…っ…やっ

汚くなど無い
お前の腋は
スベスベで
とても…良い

も…だめ…
止め…
止め…て

やっ…!!
また…っ!!

やっ…あああ!!

あっ…っ!!

んっ…やっ…
んっ…はっ…あ

んっ

はあ

はあ

んっ

んっ

ドク

んっ

んっ

んっ



悪いが…もう
止められん…っ!!

お…お願い…っ
止め…っ…!!
可児江くんっ
わた…私っ…

千斗…っ
千斗…っ!!



はあ…っ…んっ!!
やっ…んんっ!!

俺も…もう
限界だ…!!



イクぞ…千斗…
いすず…!!
いすず…!!

やっ…っ
は…激しっ…!!
いや…っ…
も…ダ…っ…

!!



グッ...

グッ

ああああ!!!

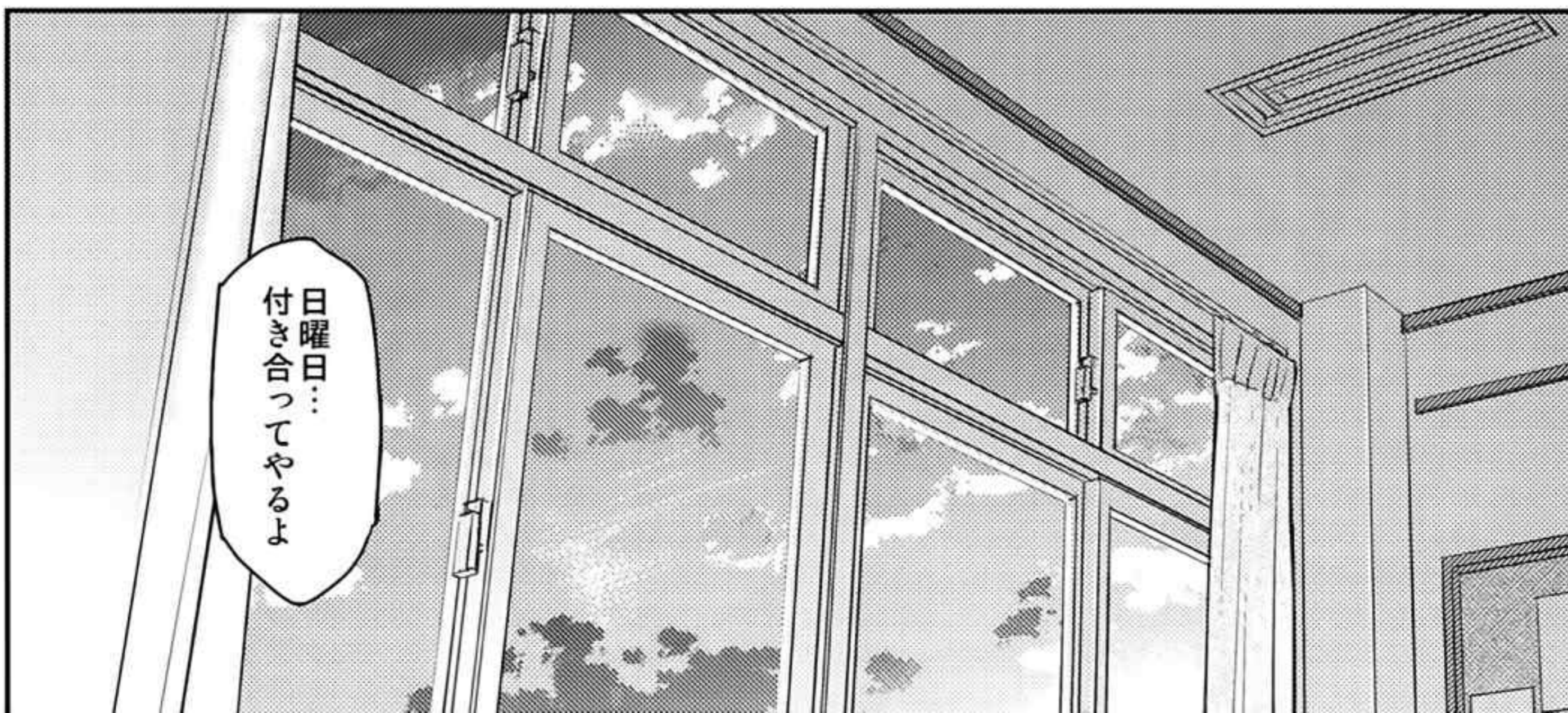
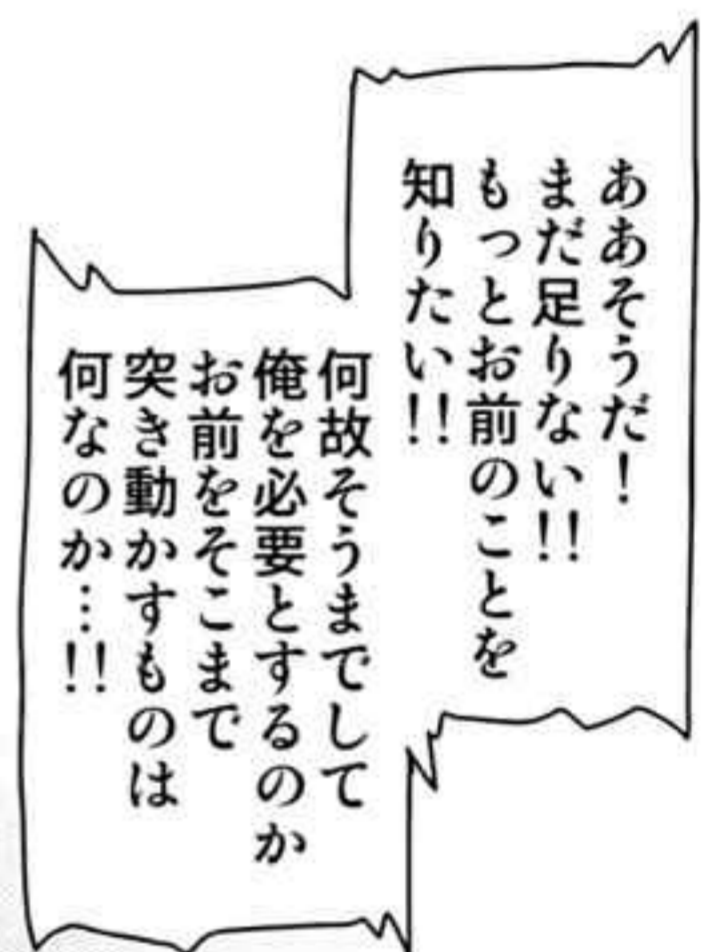
グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



こうして俺 可児江西也は
千斗いす共
日曜日の遊園地へと
繰り出すことになった

ハハハハ

それにしても
私の初めてを
奪っておきながら

上から目線で
返答なんて…
やっばり
割にあわないわ



ハハハハ

ハハハハ

おい!!
ま…待って!!
打つな! 打つな!!

ハハハ

この決断が俺の運命を
大きく変えてしまうこと
なるなんて
この時は知る由もなかった…

『甘ブリュ』

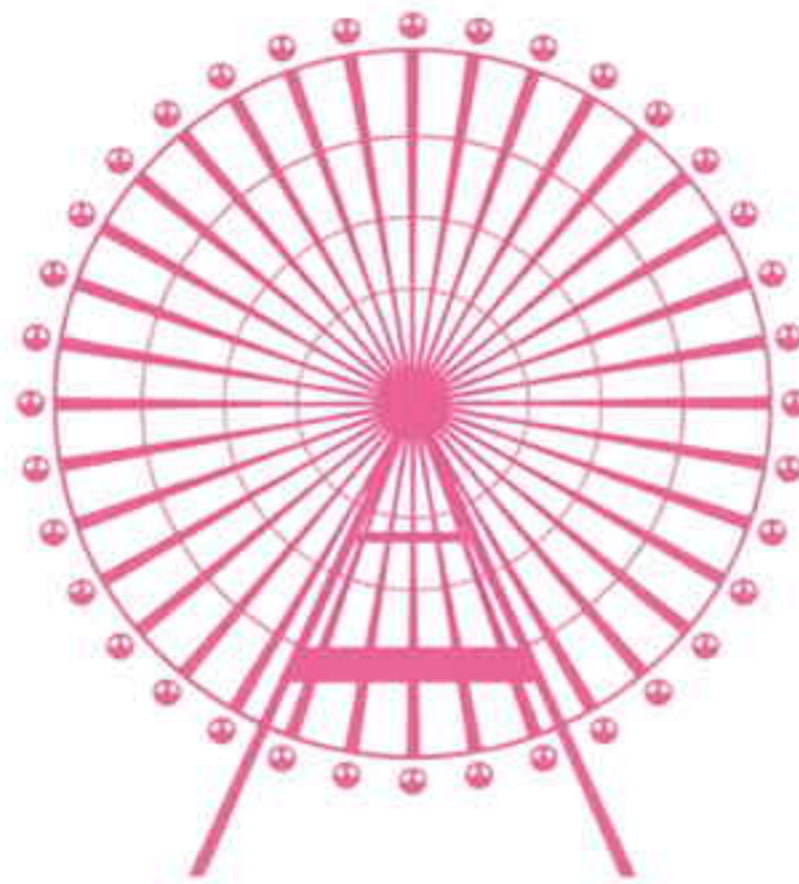
発行日 2014年10月12日
発行 SMUGGLER
著者 カズヲダイスケ
発行 スズトウシャドウさま

18歳未満の閲覧・購入・譲渡禁止
無断転載・無断複製等禁止
WEBへの無断アップロード禁止

https://twitter.com/kazuo_disk
<http://www.pixiv.net/member.php?id=924671>



お買い上げ誠にありがとう
ございます。
甘ブリ楽しみです(^^)



**SMUGGLER PRESENTS
FOR ADULT ONLY**